



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉崎 康昭
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 島本 信英

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	28,005	△12.8	520	—	△308	—	△274	—
28年3月期第3四半期	32,121	7.3	△798	—	△404	—	△352	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△7.45	—
28年3月期第3四半期	△9.57	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	92,652	33,547	36.2
28年3月期	88,905	33,822	38.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 33,547百万円 28年3月期 33,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,200	△7.2	1,300	—	400	—	100	—	2.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は【添付資料】P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	36,800,000 株	28年3月期	36,800,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,244 株	28年3月期	1,244 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	36,798,756 株	28年3月期3Q	36,798,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当事業につきましては、チタン事業では、国内向けにおいて海水淡水化案件の需要減に加え、造船用プレート式熱交換器、発電プラント向け等の一般産業用展伸材需要が当初予想を下回ったことから売上高が減少いたしました。輸出向けにおいては、航空機の製造は堅調に推移しておりますが、前年同期に比べ為替レートが円高となった影響等により売上高が減少いたしました。この結果、チタン事業の売上高は18,109百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

ポリシリコン事業では、半導体用ポリシリコンの需給調整が継続していること、また昨年10月に関西電力の高圧線鉄塔近くでの火災により岸和田製造所を含む広範囲にわたる突発停電が発生しポリシリコンプラントが停止、早期復旧に努めたものの生産・出荷が減少したことによりポリシリコン事業の売上高は8,173百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

高機能材料事業では、半導体需要の増加に伴う高純度チタンでの需要増はあったものの、液晶パネル用途のT I L O P（タイロップ）の需要が調整局面であることから粉末チタンの売上高が減少したため、高機能材料事業の売上高は1,721百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は28,005百万円（前年同期比12.8%減）と減収となりました。

一方、利益につきましては、岸和田製造所の停電に伴う悪化があったものの、前年同期にポリシリコンの生産トラブルがあったこと及びコスト改善等により営業利益は520百万円（前年同期は798百万円の損失）となりました。また、営業外費用に外貨建売掛債権の為替差損を計上したこと等により経常損失は308百万円（前年同期は404百万円の損失）、四半期純損失は274百万円（前年同期は352百万円の損失）となりました。

(参考)事業別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	7,782	10,964	△29.0
	輸出	10,327	10,830	△4.6
	計	18,109	21,795	△16.9
ポリシリコン事業		8,173	8,585	△4.8
高機能材料事業		1,721	1,741	△1.1
合計		28,005	32,121	△12.8

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、92,652百万円と前事業年度末と比べ3,746百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が減少したものの、売掛金が増加したことが主な要因であります。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、59,104百万円と前事業年度末と比べ4,021百万円増加いたしました。これは、借入金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、33,547百万円と前事業年度末と比べ274百万円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2016年10月31日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用）

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2016年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2016年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,036	3,133
受取手形及び売掛金	10,701	13,253
商品及び製品	11,118	13,850
仕掛品	4,059	4,135
原材料及び貯蔵品	7,324	5,360
その他	1,028	2,075
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	36,266	41,806
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,416	12,029
機械及び装置（純額）	19,220	18,031
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	624	473
その他（純額）	593	577
有形固定資産合計	47,678	45,936
無形固定資産	727	614
投資その他の資産	4,233	4,295
固定資産合計	52,639	50,845
資産合計	88,905	92,652

(単位：百万円)

	前事業年度 (2016年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2016年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,777	4,754
短期借入金	23,790	17,200
未払法人税等	51	66
設備関係支払手形	61	98
設備関係未払金	466	435
賞与引当金	363	89
事業再構築引当金	360	39
その他	971	1,569
流動負債合計	30,841	24,252
固定負債		
長期借入金	21,000	31,500
資産除去債務	1,327	1,349
退職給付引当金	1,768	1,810
その他	145	192
固定負債合計	24,241	34,852
負債合計	55,083	59,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	16,187	15,913
自己株式	△9	△9
株主資本合計	33,859	33,585
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63	90
繰延ヘッジ損益	△100	△128
評価・換算差額等合計	△37	△38
純資産合計	33,822	33,547
負債純資産合計	88,905	92,652

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)
売上高	32,121	28,005
売上原価	29,448	23,529
売上総利益	2,673	4,476
販売費及び一般管理費	3,471	3,955
営業利益又は営業損失(△)	△798	520
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	3
為替差益	183	—
不用品売却益	81	123
受取賃貸料	29	38
補助金収入	92	42
事業再構築引当金戻入益	161	—
その他	21	19
営業外収益合計	578	226
営業外費用		
支払利息	160	151
為替差損	—	503
休止固定資産減価償却費	6	0
その他	17	399
営業外費用合計	184	1,055
経常損失(△)	△404	△308
特別損失		
固定資産除却損	109	81
ゴルフ会員権評価損	4	2
特別損失合計	113	83
税引前四半期純損失(△)	△517	△391
法人税等	△165	△117
四半期純損失(△)	△352	△274

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	21,795	8,585	1,741	32,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	21,795	8,585	1,741	32,121
セグメント利益又は損失(△)	466	△1,509	243	△798

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業損失とに差異は生じておりません。

当第3四半期累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	18,109	8,173	1,721	28,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,109	8,173	1,721	28,005
セグメント利益又は損失(△)	784	△747	483	520

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。